

事務事業調書

平成27年度

事業No	805	課	文化振興課	係	文化財係	起案者	齋藤弘之
						決裁者	牧浩之
事務事業名	文化財保護事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 4 文化・芸術 2 文化財 2 文化財の保護と育成 1 調査・保存管理の推進		予算科目(会計)		一般会計				
			予算科目(款・項・目)		50-25-70				
			総合計画以外の計画						
			関連する総合計画の施策						
			性質区分	法律などで実施が義務付けられているもの					
根拠法令	有	文化財保護法、愛知県文化財保護条例、安城市文化財保護条例							
法定受託事務	無								
公約・議会答弁	有	H25.12定例会：歴史のまちづくりについて H26.3定例会：本證寺周辺の整備について H27.3定例会：文化財							
陳情・市民要望	有	H13二子古墳周辺整備 H17姫小川古墳保護 H21福釜農業倉庫保護 H26古井戸跡存続について							
実施方法	直営		委託先						
実施期間	開始	昭和36年度		経過	54年目	終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		地域住民が			～になる		文化財を核にまとめることで、誇りと連帯感が生れるようになる。	
事務事業の内容	安城市内の文化財を保護することを目的とする事業です。 本事業では、文化財保護委員会運営と文化財指定、史跡説明看板整備、害虫駆除のよる天然記念物保存等を行っています。また、国指定史跡本證寺境内整備事業についても本事業で進めています。								
改善・対策の履歴	【平成21年度】本證寺内堀のハスを再生させるため、外来生物駆除による環境整備事業を開始しました。 【平成24年度】桜井神社クロマツの害虫防除対象を胸高囲40cm以下のものまで拡大しました。 【平成25年度】文化財指定事務を明確化するため、指定基準を作成しました。 【平成25年度】本證寺境内の国史跡指定のため、保存活用基本計画を策定しました。 【平成26年度】指定文化財の管理調査制度を改善しました。 【平成26年度】桜井古墳群保護のため、桜井古墳群保存管理計画を策定しました。								

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	16,351	22,001	18,581	18,631	83,870
財源計	5,389	13,937	10,517	9,307	74,546
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	19,149
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	5,389	13,755	9,307	55,397
受益者負担金	0	182	0	0	0
職員人件費(従事職員数)	10,962 (1.74)	8,064 (1.28)	8,064 (1.28)	9,324 (1.48)	9,324 (1.48)
人事課予算分人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	天然記念物害虫防除	見込	31.00	50.00	50.00	50.00
			実績	50.00	49.00	51.00	
	指標名 (単位)	防除件数(件)	活動の総事業費(千円)	1,229	1,313	1,441	
			活動にかかるコスト(千円)	24.58	26.80	28.25	
活動2	活動名 (活動内容)	文化財保護委員会	見込	4.00	4.00	4.00	4.00
			実績	4.00	5.00	4.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費(千円)	1,011	915	875	
			活動にかかるコスト(千円)	252.75	183.00	218.75	
活動3	活動名 (活動内容)	本證寺内堀環境整備事業	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	環境整備事業の実施(式)	活動の総事業費(千円)	1,575	1,575	1,584	
			活動にかかるコスト(千円)	1,575.00	1,575.00	1,584.00	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	指定文化財の指定件数(件)			目標	216.00	218.00	220.00	222.00
				実績	218.00	220.00	222.00	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	222.00	達成状況	達成	達成	達成
	本證寺内堀での花の開花(箇所)			目標	2.00	2.00	2.00	2.00
成果2				実績	1.00	2.00	2.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	達成	達成

5 成果1、2以外の成果

成果	本證寺境内が国史跡に指定されました。 本證寺境内整備事業が実施計画で採択されました。 桜井古墳群保存管理計画を策定しました。 文化財保護委員が指定文化財の管理調査を実施する制度を改善しました。 古くなった史跡説明看板の更新予算を確保しました。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	天然記念物害虫防除および文化財保護委員会の事業費の変化は、担当職員数(人工)の変更と委員会開催回数、入札の落札額の変化によるものです。 事業全体でみた場合、平成25年度は本證寺境内保存活用基本計画、平成26年度は桜井古墳群保存管理計画策定のため事業費が増加しています。 また、平成27年度からは、本證寺境内整備事業(用地取得)、史跡説明看板更新等のため事業費が増加する見込みです。
成果	天然記念物害虫防除と本證寺内堀環境整備事業については、その効果が現われ、成果が継続するようになりました。 本證寺境内の国史跡指定では地元有志による祝賀会とイベントが、桜井古墳群保存管理計画では検討会議の地元委員によるパネルディスカッションが開催され、それぞれの文化財に対する市民レベルでの意識の高揚と地域の絆を強くすることができました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
改善を加える文化財管理調査については、調査対象と保護委員の専門分野に配慮して下さい。 古くなった史跡説明看板の更新については、ICT対応にするようにして下さい。 桜井古墳群保存管理計画検討会議から提案をいただいた二子古墳保存のための桜井中学との連携については、学校行事等との兼ね合いを考え、春先の実施に向けた学校と調整を急いで下さい。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
拡充	計画通りの史跡公園整備の完成を目指し、本證寺境内整備事業は拡充する必要があります。 桜井古墳群についても、保存および活用整備のため、事業を拡充していく必要があります。 従来の事業(現状の文化財の保存等)については、今後も維持していきます。 今後も、本市の経済状況および文化財周辺の開発状況に応じて、海軍明治航空基地、日本デンマーク時代の建造物、安城城址等の保存および活用整備事業を推進する必要があります。